



卯の会



クリスマスの一風景

目次

- 精神科治療の進歩P2
- 満足度アンケート結果報告P3
- イベント目白押しP4～P5
- 文化講演会・病院見学・伊平屋ムーンライトマラソンP6
- 栄養課からのレシピ紹介P7



医療法人 卯の会 新垣病院
副院長・診療部長 大田 郁也

■ 精神科治療の進歩

最近10～15年の精神科治療の進歩は大きく、広い範囲に及んでいます。この進歩の一部を、私の知る範囲で、ご紹介したいと思います。

診断・予後に関して、多くの成果が挙がり、実際の診療場面にも示されています。統合失調症の予後に関しても、半数以上で経過が良い可能性が示唆されつつあります。気分障害(うつ病、躁うつ病)でも、双極性の診断が再考されることで、治療抵抗性であった気分障害への、新しい治療方法の可能性が生まれました。また、広汎性発達障害(アスペルガー症候群など)の診断が、小児精神科医以外にも受け入れられつつあり、これまで、難治性精神病や人格障害(性格の問題)とされていた一群にも、新しい治療アプローチが可能となっています。

薬物治療に関しての、ここ15年の進歩は目覚ましいものがあります。統合失調症治療薬では非定型抗精神病薬と呼ばれるものが登場し、大きな治療効果を上げています。また、それまでも言われていた、単剤化が、非定型抗精神病薬の登場を機に、更に押し進められました。非定型抗精神病薬の利点を生かして、治療効果を上げるには、単剤の方が望ましいからです。同時期に、その直前まで推奨されていた、抗精神病薬高用量での治療効果も否定されました。これらの変化を踏まえて、抗精神病薬の治療の再構築を行っている、と言うのが、統合失調症薬物治療の現状ですが、大きな効果が上がりつつあります。やる気が起きやすく、副作用が少ないために、就労の可能性が高いのです。これには、薬物療法以外に、就労への支援体制の整備も関係しているのでしょう。また、今年になって、非定型抗精神病薬のデポ剤(2～4週間に1回の注射で、内服と同等の効果)が1種類使用可能となり、服薬不規則への治療の可能性も広がりました。非定型抗精神病薬のデポ剤は、数種類のものが開発の途中にあります。当院でも、患者さんの協力を得て、2種類の治療試験が進行しています。うつ病でも、SSRI(選択的セロトニン取り込み阻害薬)などの、新規抗うつ薬が登場しました。それまでの三環形抗うつ薬などは、これらの新規抗うつ薬に取って代わられた状態ですが、ここに来て、これらの新規抗うつ薬への再評価がなされ、更に進歩した形での、治療への応用が期待されています。認知症に関しても、1種類ですが治療薬が使用可能となり、更なる開発も進んでいます。また、認知症に対するワクチン開発も行われていると言う、驚くべき進歩が見られます。

他の多くの治療法でも、大きな進歩があります。当院でも、必要性の高いものから、順次、導入が行われて行く予定です。これらが、実際の診療場面で、大きな効果を上げることを期待しています。



満足度アンケート結果報告

医療法人 卯の会 新垣病院 サービス委員会・苦情処理委員会

8月16日～9月10日までの期間に病院満足度アンケート調査を実施しました。今回も外来、各病棟、デイケア部門（デイナイト、デイケアⅠ、デイケアⅡ、認知症DC）の各部署でアンケートさせていただきました（1病棟は回答を得るのが難しいため調査対象から外させていただきました）。

評価と対応 外来

外来部門では引き続き待ち時間の長さが課題となっており、あまり改善されていない状況です。待ち時間が2時間を超える利用者もいて不満の声もアンケートに反映されています。現在、待ち時間対策会議を重ね、待ち時間の分析と負担軽減策を検討・実施中です。

スタッフ・医師の対応については、良い評価をいただいておりますが、自由記述では不満の声もあげられており、丁寧な声かけや説明などの利用者対応の改善を図っていきます。

評価と対応 デイケア部門

精神科デイケアセンターは、今年6月よりデイケアⅠとデイケアⅡに分けて稼働しはじめました。デイケアⅠに関しては、設備面での評価がやや低く、デイケアⅡでは評価が高くなっています。今後、どちらでも設備・環境面の整備に力を入れていきます。また活動内容に対する評価も、デイケアⅠはやや評価が低く、デイケアⅡはやや高めです。両施設におきましても、活動内容の充実に力を入れていきたいと考えています。

精神科デイナイトケアセンターでは、今年度、トイレなどの施設設備の改修をすすめてきました。それが評価されたためか、設備・環境面の評価が高くなっています。スタッフの対応、相談、活動目的についても評価が高くなっており、デイナイトケアの昨年度からの取り組みが評価されたものと思います。今後も取り組みを充実させるよう努めていきます。

認知症デイケアにおいては、送迎の乗り降りの安全性から、出入り口の変更と改修を行いました。安全性は高くなったと思いますが、整備工事と乗降場所の移動で不便な印象を与えてしまい、設備面の評価が下がったと考えられます。スタッフの対応、相談、活動に関してはおおむね良い評価をいただいておりますが、活動内容や食事、本人たちの様子などをもっと家族の方々へ伝えて欲しいというご意見があり、今後ご家族にもっと情報を提供していけるよう努めていきます。

評価と対応 病棟部門

2病棟は今年度から、入院期間が5年未満の方々を中心に対応する病棟となりました。これはリハビリに集中的に取り組む体制を作るのがひとつの目的です。しかし、設備面、スタッフの対応、活動内容などやや前年度より評価が下がっているため、新しい体制のもと納得してもらえる対応やリハビリ活動に努めていきます。

3病棟では、今年度から入院期間が5年以上の方々を中心に対応する病棟となりました。スタッフの対応、説明、活動内容などについて前年度よりやや評価が高くなっています。今後もスタッフの対応、活動内容の充実に努めていきます。

4病棟では、スタッフの相談についてやや評価が高くなっている反面、活動内容の評価が低くなっています。要因ははっきりしませんが、安全と安心を第一にスタッフの対応と治療とリハビリに今後も力を入れていきます。

5病棟では、スタッフの相談への評価がやや低くなっています。今後、対応と説明にもっと力を入れていきます。一方活動内容はやや良い評価が増えています。これまで取り組んできた急性期に対応したリハビリプログラムがそれなりの評価を得ていると考えます。今後も新たな活動に取り組み、早期の回復と支援に力を入れていきます。

病院食に対してのご意見にバラつきはありますが、全体として評価が下がっている傾向があるようです。これは食材費の高騰の影響があるかと思えます。制限ある予算内で充実した食事を提供できるよう工夫を重ねていきたいと思えます。

館内禁煙についてのご意見が自由記述で多数ありました。喫煙者の方々には不自由と感じられるかと思いますが、利用者の健康と受動喫煙防止のため、禁煙への取り組みのご理解とご協力をよろしく願います。

イベント目白押し

救急病棟入院者のご家族向け 家族心理教育セミナーを開催して

8月14日(土)、救急病棟にて家族心理教育セミナーを開催しました。今回病棟で実施するのは初めての試みでした。「統合失調症の症状と治療について」を院長代行の新垣武先生に講話していただきました。

統合失調症は、「早期治療することで早期に回復することが出来る」ということと「統合失調症の新しい薬が開発されて少ない量で効果があったり、数週間に1度の注射でいい調子を維持できるようになったので社会復帰している方も多い」という内容のお話でした。講話の後のグループワークでは、和やかな雰囲気の中、色々な質問やお話があり積極的な意見が出されていました。おやつに出されたサーターアンダギーも好評でした。

今後も救急病棟では「統合失調症の症状と治療について」学んだり、家族同士が交流できる会を継続的に開催していきたいと考えています。多くの方々のご参加をお待ちしております。



救急病棟 看護師

天願 聡

沖縄市福祉まつり

去る10月2日(土)、3日(日)に「第27回沖縄市福祉まつり」が美里公園にて開催され、33の市内福祉関係団体やボランティアグループの作品展示や実演、手作りコーナー等の出店がありました。就労支援事業所あらた舎も年間行事の大きなイベントの一つとして毎年参加させてもらっています。

福祉まつり当日はパン工房「ラビットベーカリー」の焼き立てパンと農耕班の野菜、印刷班のポストカードをメンバーとスタッフで協力しながら製造・販売を行いました。天気予報では天気が崩れるとの事で心配ではありましたが数多くの関係者の皆様が来場しており、おかげ様で商品は全て完売できました。各関係機関の皆様並びにご家族の皆様、ご来場のお客様へこの場を借りてお礼申し上げます。

これからも地域活動・イベントに積極的に参加し、多くの人達との出会いを大切にしていきたいと思っております。



就労支援事業所
あらた舎 施設長

仲田直幸



第5回 デイケアセンター 家族交流会

10月8日(金)精神科デイケアセンターにて「家族交流会」を開催しました。

午前中は、ご家族の方へ「精神科リハビリテーションについて」理解を深めていただくことを目的に、担当医の玉城先生に講話をしていただきました。参加したご家族は「リハビリには、たくさんの方があることを知った。家ではどのようなリハビリをすればいいのか」「本人の自立を望んでいるが、どのように対応したらいいか」など切実な意見や質問がありました。先生は「今できていることを続けてもらうこと。できることを少しずつ増やし、出来たときにはほめることが大切」とアドバイスをされていました。

午後からは、作品展示会やエイサー、三味線演奏、合唱と利用者さんの日頃の活動の成果を披露していただきました。

た。ご家族は、趣向を凝らした作品の数々に見入ったり、「家に閉じこもっていた時期もあったが、歌っている姿を見て驚いた」と通所してからの変化を喜こんでおられました。利用者さんは「私たちは、社会復帰に向けてリハビリに励んでいます。(リハビリするには)家族の理解と協力が必要です。よろしくお願いします」と挨拶されていました。

デイケアセンターでは、利用者さんが望む社会復帰に向けてご家族と一緒に取り組んでいきたいと考えています。今後も、ご家族の理解とご協力をよろしくお願いします。



精神保健福祉全国大会

10月29日(金)、浦添市でだこホールにて精神保健福祉全国大会が開催されました。大会では当院から池原千代子氏、仲村静江氏、瀬保キヌ子氏、与儀幸勇氏がこれまでの功労が評価され表彰されました。おめでとうございます。

オープニングセレモニーに当院のデイナイトケアセンターの「ゆさんでい」グループがフラダンスと合唱奏を披露し大会に花を添えました。お疲れ様でした。



沖縄市ハートフルデイケア

11月11日(木)・12日(金)の両日、沖縄市役所にてハートフルデイケアが開催されました。当院院長代行の新垣武先生とあらた舎施設長の仲田直幸氏らがテープカットし、沖縄市内の病院やクリニック、デイケア、支援センターや作業所に通っている方々が手話をしながら「昴」を合唱し開会しました。当日の司会は当事者さんですばらしい司会をされていました。市役所の玄関ホールが、作品展示や



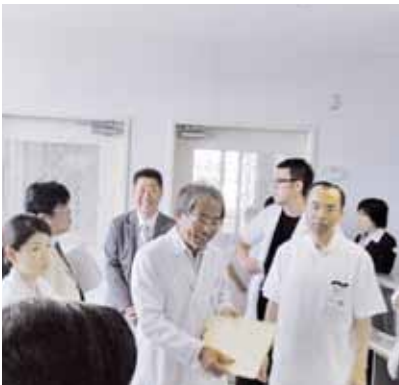
バザー、ランチタイムにはデイケアメンバーさんらのコンサートなどでにぎわっていました。

文化講演会

11月12日(金)当院コミュニティーホールで文化講演会が開催されました。

文化講演会は当院の共済会加入者へアンケートで希望を募り開催しています。今回は、宮古島出身の下地勇氏をお招きしました。説明するまでもないとは思いますが、宮古(ミヤーク)グチで県内はもちろん県外まで幅広く音楽活動されているミュージシャンです。

ユーモアのあるトークとすばらしい音楽が織り交ぜられたステージでした。宮古の言葉はよく知らない私ですが、軽快なリズムに乗せたミヤークグチは心地よく、日頃の業務の疲れを程よくほぐしてくれ、リラックスした気分で、有意義な夕べを過ごすことが出来ました。ここだけの話ですが、下地氏の甘いマスクにみとれていた女性スタッフがいたとかいないとか……。(共済会 匿名希望)



病院見学

10月13日(水)に雁の巣病院(精神科 福岡県)から院長はじめ11名の方が施設見学で来院されました。病棟見学後、電子カルテの運用・精神科救急病棟の医療体制などの説明を受け、当院職員との意見交換などが行われました。

伊平屋ムーンライトマラソン

10月23日、新垣病院「走ろう会」は毎年恒例になった伊平屋ムーンライトマラソンに参加してきました。スタート時は空に多少雲がかかっていましたが、夕暮れ時には晴れてきれいな満月が……。満月を見ながら走るマラソンは幻想的でした。

今回は8名の職員や関係者がハーフマラソンを完走しました。次年度はご一緒に月夜を走りませんか？ (精神保健福祉士 金城由巳)



栄養課
からの
レシピ紹介

かぼちゃと 豆腐の カレーグラタン

血液サラサラ&季節の お野菜を使った時短料理

血液をサラサラにする食材として今回は「かぼちゃ」を紹介します。

調理
時間
8分
1人
227kcal



材 料 (4人分)

- ・かぼちゃ 320g
- ・島豆腐 160g
- ・ブロッコリー 100g
- ・とろけるチーズ 80g
- ・レトルトカレー 2袋

作 り 方

- ①かぼちゃは種とわたを取って2cm角にカットし皿に広げラップをかけて電子レンジで2~3分加熱する。
- ②豆腐は水気を切って2cm角に切る。
- ③ブロッコリーも子房に分け皿に広げラップをかけて電子レンジで2分加熱する。
- ④グラタン皿に①②を入れレトルトカレー・チーズをかけてから③を置く。
- ⑤オーブントースターでチーズが溶けるまで焼く。

ポイント

- ※今回はレトルトカレーで紹介しましたが、ご家庭でカレーを作って余った時にはぜひお試しください。
- ※さまざまな病気を防ぐために血液をサラサラに保つには食生活を見直すことが大切です。
- ※生活習慣病予防のためにも多くの種類の食材をバランスよく食べてこそ効果が表れます。

かぼちゃの栄養分

かぼちゃにはビタミンE、B-カロテン、ビタミンCが含まれています。

(管理栄養士：津嘉山恵利子)

これからの主な病院行事予定

12月 December

- 11日(土) メンタルヘルスフェア
- 18日(土) 家族の集い (認知症の方の家族向け)
- 23日(木) 天皇誕生日 **休日診療態勢**
- 28日(火) 仕事おさめ

※年末年始(12月29日~1月3日)は休日診療態勢になります。

1月 January

- 1日(土) 元日
- 2日(日) 年始休み
- 3日(月) 年始休み
- 10日(月) 成人の日
- 22日(土) 家族心理教育セミナー

休日診療態勢

2月 February

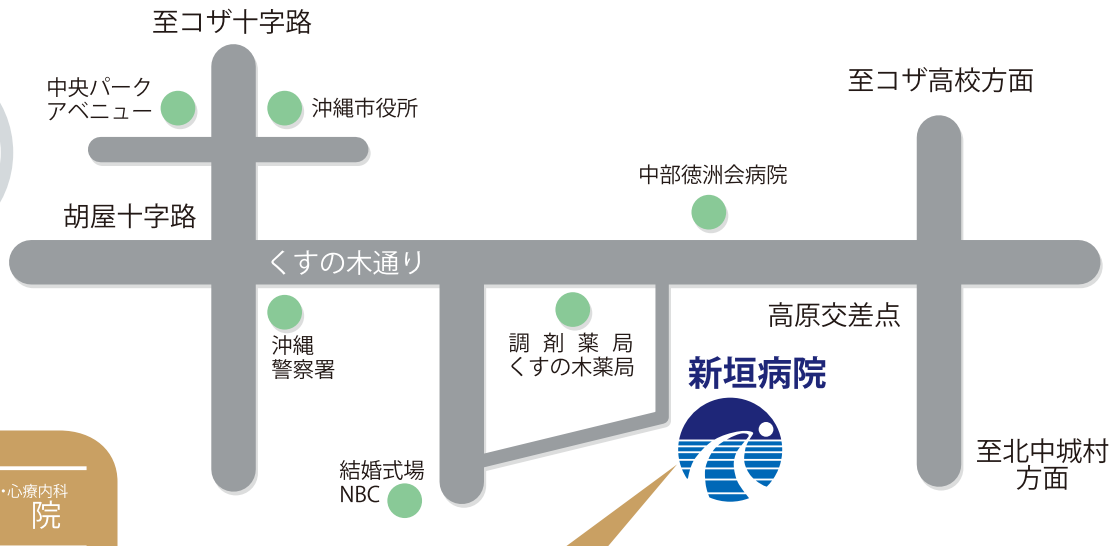
- 11日(金) 建国記念日 **休日診療態勢**
- 19日(土) 院内学会
- 期日未定 家族と療養者の交流会

編 | 集 | 後 | 記 |

新しい年の足音が次第に大きくなってきたかのように感じる今日この頃…。今年を振り返ると様々な記憶が蘇ります。今年、岡田ジャパンのサッカーの躍進、興南高校の快挙などスポーツ界においての記憶が強く残っています。岡田監督と我喜屋監督の両氏は「小さなこと(細かいこと)をコツコツ丁寧にこなすこと」の大切さを述べています。

飽きっぽい私ですが『来年もコツコツ丁寧に心を込めて広報誌の発行に携わっていきたいな』と思いを馳せる今日この頃です。(池原)

当院への案内図



医療法人 卯の会 精神科・心療内科
新垣病院



〒904-0011 沖縄県沖縄市安慶田4丁目10番3号
TEL (098) 933-2756 FAX (098) 932-8123

医療

- 5 病棟:精神科救急病棟
- 4 病棟:精神科一般病棟
- 3 病棟:精神療養病棟
- 2 病棟:精神療養病棟
- 1 病棟:認知症治療病棟
- 外来・訪問看護
クリニック

リハビリテーション

- 精神科作業療法
- 精神科デイケア
- 重度認知症患者デイケア
- 精神科デイナイトケア
- 通院患者リハビリテーション事業
(社会適応訓練事業)
- 外来作業療法

地域支援

精神保健福祉相談 ・自立および生活支援 ・入院・受診相談
啓蒙啓発活動

関連施設

- あらかきクリニック ……TEL (098) 944-2007
- 自立支援事業所 ラポール ……TEL (098) 932-8100

- グループホームあらかき ……TEL (098) 934-1940
なごみ荘A・B/れもんの家
- 就労支援事業所 あらた舎 ……TEL (098) 938-2100



館内禁煙について

平成22年9月1日をもちまして館内禁煙になりました。
ご協力を宜しくお願いします。

理念

私たちは博愛と奉仕の精神で診療に臨み
常に安心して満足いただける
最良の医療を目指します



基本方針

1. 利用者の人権と安全に配慮し、一人ひとりに最も適した医療を提供します。(人権・安全性・医療)
2. 地域と密接に連携し、利用者の社会参加、社会復帰の促進をはかります。(地域連携)
3. 快適な治療環境を追求し、「癒し」と「安らぎ」のための空間を提供します。(アメニティと医療の質)
4. 医療人としての研鑽を積み、それぞれの専門性を高めチーム医療に努めます。(職員の質の向上)
5. 職員の健康と安全に配慮するとともに、生活向上にも努めます。(職場環境)

患者様の責務

患者様に守って
いただきたいこと

1. 医療提供者に対して患者自身の健康に関わる情報を提供すること
2. 医療上理解できないことについて質問すること
3. 他の患者の治療や病院職員の医療提供に支障を来たさないように留意すること

患者様の権利

1. 良質な医療を安全かつ公平に受ける権利
2. 人格を尊重され医療提供者との協力関係の下で医療を受ける権利
3. 診療に関して十分な説明、情報を受ける権利
4. 治療方法などを自分の意志で選択する権利
5. 個人情報の秘密が守られ、私的な生活を乱されない権利